

東岸和田駅における信号トラブルの原因と対策について

2025年12月9日に、阪和線 東岸和田駅構内で発生させた信号トラブルについて、原因が判明しましたので対策と合わせてお知らせします。お客様にご迷惑をおかけしましたこととお詫び申し上げますとともに、再発防止に努めます。

1 発生日時

12月9日（火） 9時00分頃

2 発生場所

阪和線 東岸和田 駅構内

3 概況

9時00分頃、大阪指令所の指令員が、モニター画面にて東岸和田駅の信号が赤のまま変わらないことを認めました。

信号の確認のため、阪和線では和泉府中～熊取駅間で運転を見合わせていましたが、復旧が完了したため11時05分に運転再開しました。その後、東岸和田駅の信号が赤のまま変わらないことを再度認めたため、11時16分から阪和線の和泉府中～熊取駅間で運転を見合わせていましたが、12時00分に運転を再開しました。

※9時35分から振替輸送を実施していました。

4 列車影響

〈運 休〉 80本（下り39本、上り41本）

〈遅 れ〉 上り特急電車『はるか10号』[関西空港（9：12）発 京都（10：34）行]が183分遅れたのを最大に、計61本（上り32本、下り29本）に遅れ

〈影響人員〉 約38,000人

5 主な原因

列車の在線位置を検知する装置に使用している機器の一部配線が接触不良となったためです。

※設置工事時の施工不良と推定されます。

6 対策

配線作業の手順書に、より確実な作業とするため接触不良となった機器の具体的な施工方法を追記しました。